

平成30年7月豪雨による出水の概要 《第4報 7月23日 12時 時点》

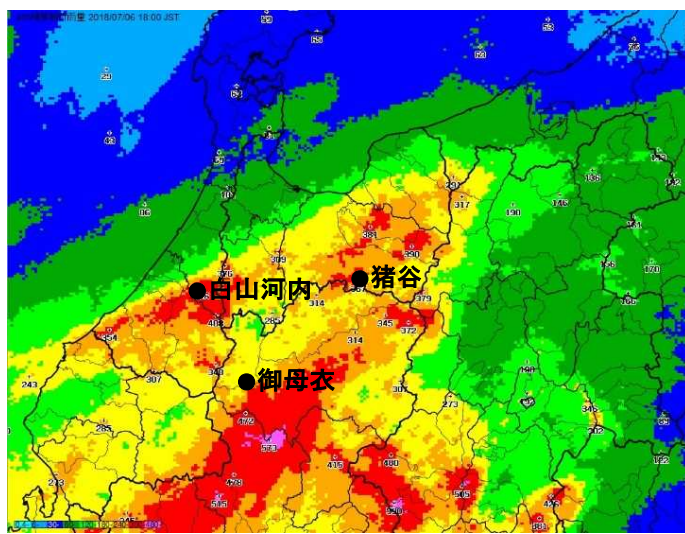
※数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。

国土交通省 北陸地方整備局 河川部

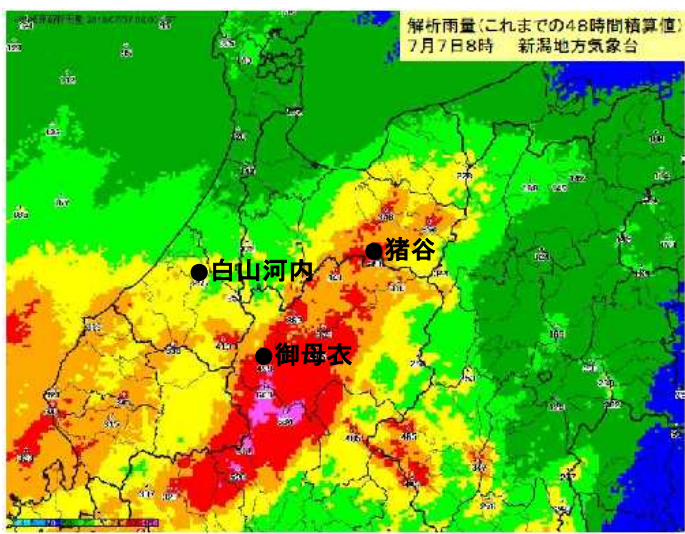
気象概要

6月29日9時に日本の南海上で発生した台風第7号は、強い勢力で東シナ海を北上、7月3日夜には対馬付近を通過し、日本海を北東に進んだ。台風は4日には日本海中部で温帯低気圧に変わったが、この低気圧からのびる前線が8日にかけて本州付近に停滞、南から温かく湿った空気が流れ込み、活動が活発化した。これにより、北日本から西日本にかけて広い範囲で非常に激しい雨が降り、記録的な大雨となった。

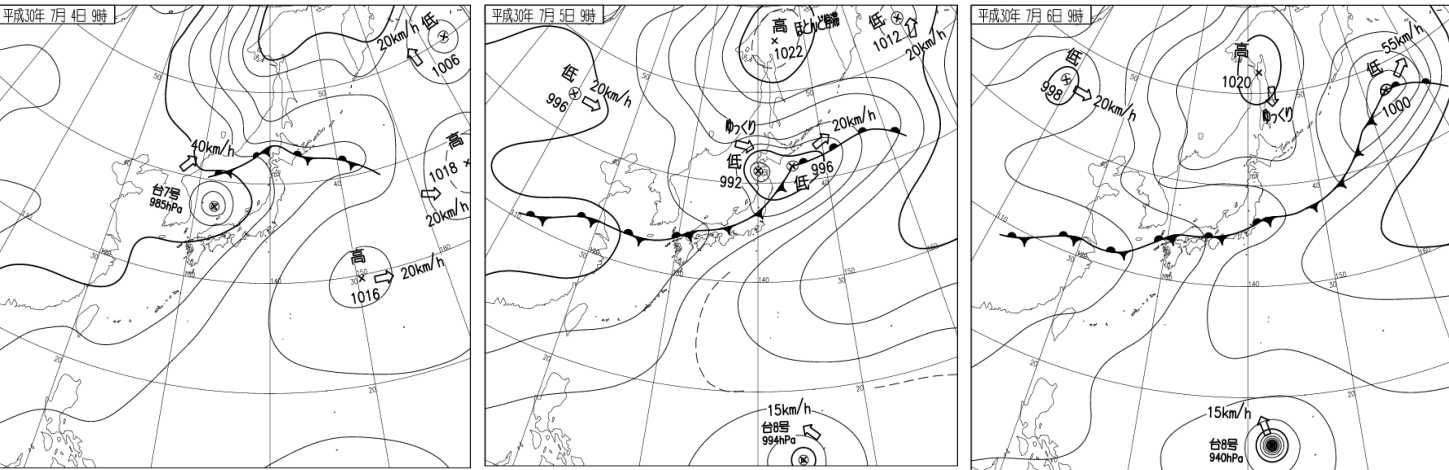
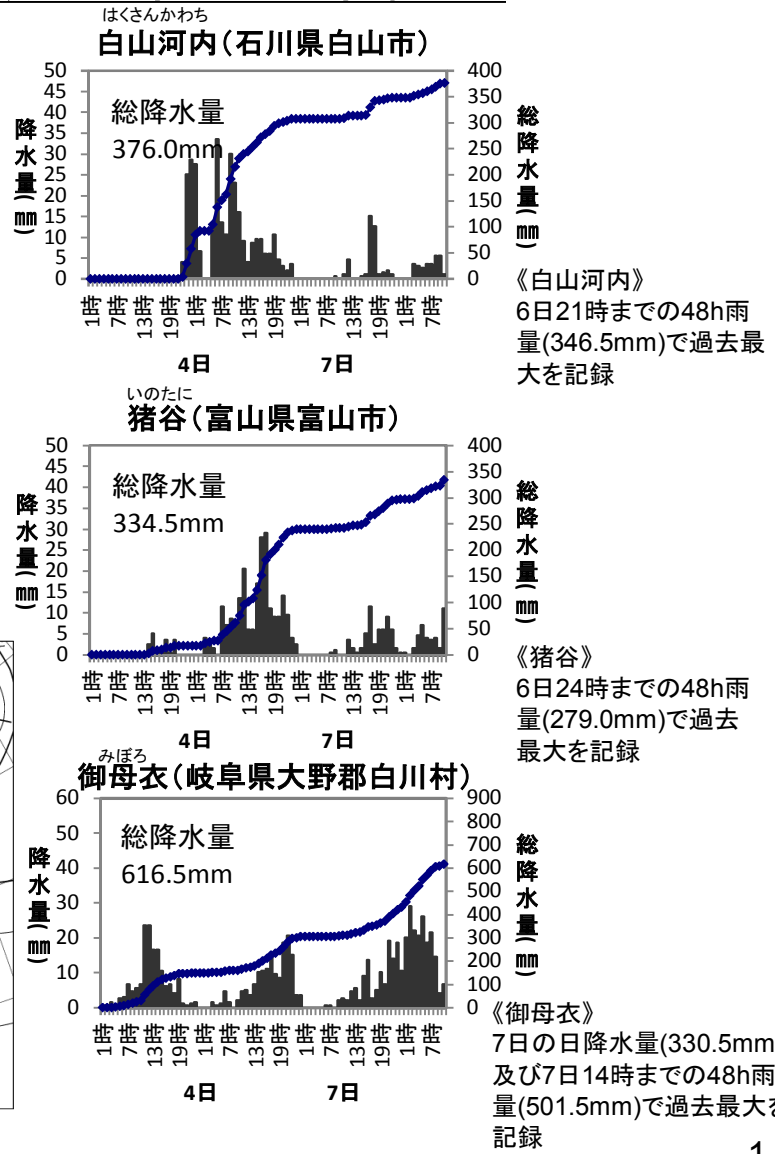
7月4日18時～6日18時 48h雨量



7月5日18時～7日18時 48h雨量



7月4日0時～7日10時 総雨量



《提供:新潟地方気象台》

出水概要

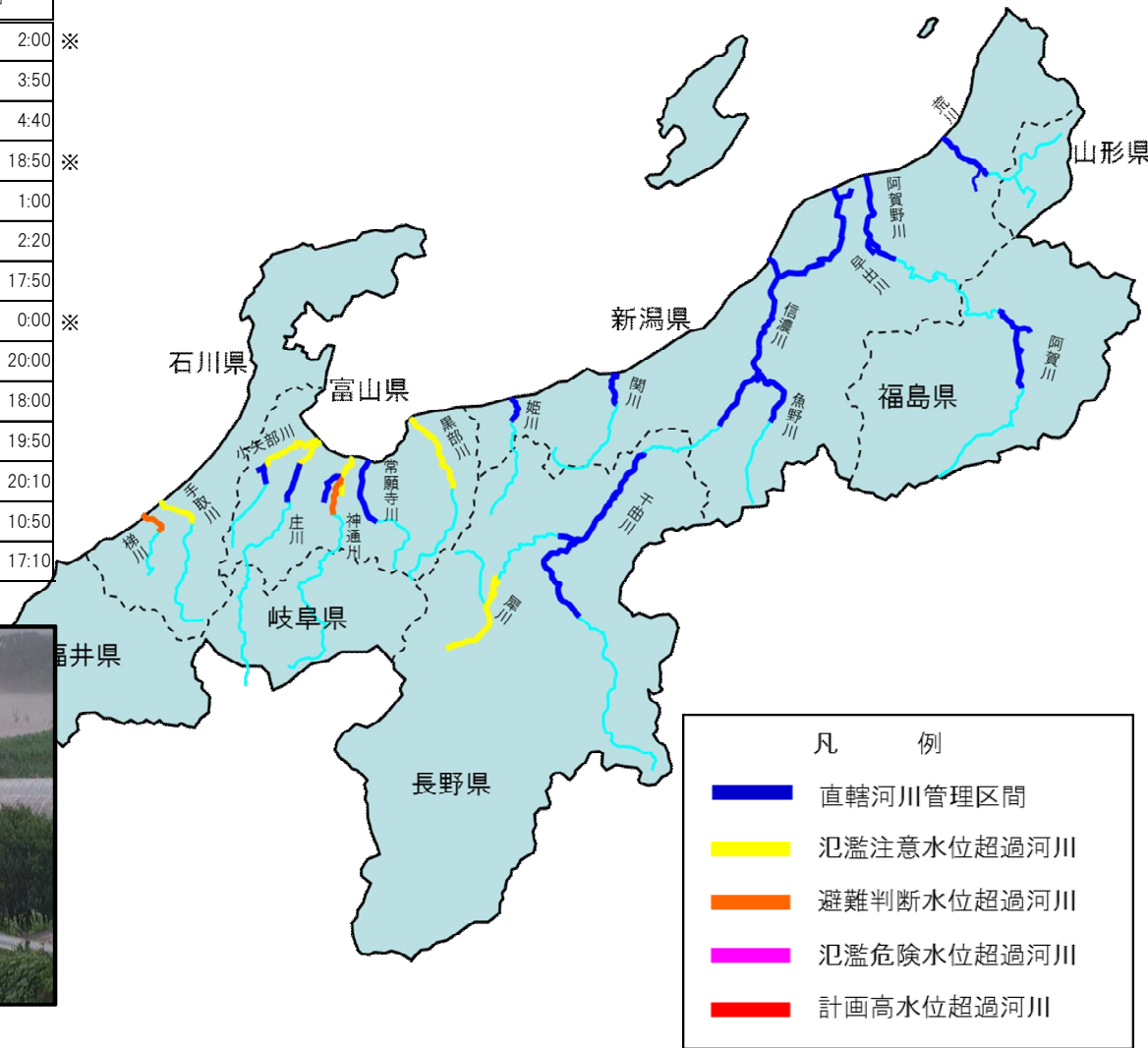
北陸地方整備局管内の国管理河川において、2水系2河川で『避難判断水位』を、6水系6河川において『氾濫注意水位』を越える出水となった。

■国管理河川の出水状況(基準水位超過観測所一覧)

水系名	河川名	観測所名	所在地	氾濫注意水位	避難判断水位 (特別警戒)	氾濫危険水位	計画高水位	ピーク水位	ピーク日時	
しなのがわ 信濃川	犀川	稲穂ダム(流量)	長野県松本市安曇	300	690	780	1800	419.00	7月6日 2:00	※
		熊倉	長野県安曇野市高家宇寺村3023-2	4.00	5.80	6.00	7.15	4.00	7月6日 3:50	
		陸郷	長野県安曇野市明科南陸郷	3.30	4.50	4.80	7.47	4.20	7月6日 4:40	
くろべがわ 黒部川	黒部川	愛本(流量)	富山県黒部市宇奈月愛本	700	1600	2500	6500	908.00	7月5日 18:50	※
じんぼうがわ 神通川	神通川	大沢野大橋	富山県富山市葛原	5.10	6.10	6.60	7.14	6.13	7月6日 1:00	
		神通大橋	富山県富山市神通町	5.00	7.50	8.00	8.61	7.22	7月6日 2:20	
		熊野橋	富山県富山市安養寺	2.60	3.30	3.90	4.41	3.13	7月5日 17:50	
しょうがわ 庄川	庄川	小牧(流量)	富山県砺波市庄川町小牧	1,000	3,400	4,000	5,800	1,569.00	7月8日 0:00	※
		大門	富山県射水市大門	5.50	7.40	7.70	9.81	6.93	7月7日 20:00	
おやべがわ 小矢部川	小矢部川	石動	富山県小矢部市東福町	2.50	4.80	5.30	5.80	2.81	7月5日 18:00	
		長江	富山県高岡市長江	5.80	6.90	7.30	9.13	6.36	7月5日 19:50	
てとりがわ 手取川	手取川	鶴来	石川県白山市鶴来大国町	1.40	2.30	3.00	7.40	1.48	7月5日 20:10	
かけはしがわ 梯川	梯川	埴田	石川県小松市埴田町	2.50	3.60	4.20	5.24	3.94	7月5日 10:50	
		まが	石川県小松市丸の内町	1.80	-	-	4.14	2.00	7月5日 17:10	

※流量表示

■国管理河川の出水状況(管内図)



- 凡 例
- 直轄河川管理区間
 - 氾濫注意水位超過河川
 - 避難判断水位超過河川
 - 氾濫危険水位超過河川
 - 計画高水位超過河川



梯川水系梯川
埴田観測所



神通川水系神通川
大沢野大橋観測所

水防活動（金沢河川国道事務所・平成30年7月豪雨）

○概要

平成30年7月4～6日前線の影響に伴う豪雨に際し、市内では1時間雨量32mmを観測する豪雨により急速に水位上昇（1時間に77cm）し、避難判断水位を超える危険な状況の中、梯川左岸10.0k付近荒木田町で漏水が発生したため、金沢河川国道事務所では釜段工を実施した。また、梯川7.6k付近上下流100mにおいて、越水に備え堤防上の積み土のう工を実施し、被害の軽減に寄与した。

活動時間	出動延人数	主な活動内容
7/5 約2時間	24名	積み土のう工(1,400袋)
7/5 約5時間	12名	釜段工(450袋)



梯川左岸(佐々木町)
積み土のう工



梯川左岸(佐々木町)
積み土のう工



梯川左岸(荒木田町)
釜段工



梯川左岸(荒木田町)
釜段工



神通川 河川改修事業の効果 急流河川対策により河岸侵食を防止

- 神通川は、全国有数の急流河川であり、平成16年10月出水でも、富山市塩地先で河岸侵食が発生するなどの被害が発生。現在、計画的に急流河川対策(護岸整備)を整備中。
- 平成30年7月豪雨では、神通大橋観測所において、観測史上第2位となる水位を記録する出水となったが、急流河川対策(護岸整備)を実施した箇所では河岸の侵食等は生じていない。

■ 急流河川対策(護岸整備)による効果



護岸整備の効果により被災、河岸の侵食は見られない



R19.8k付近(平成30年7月9日)

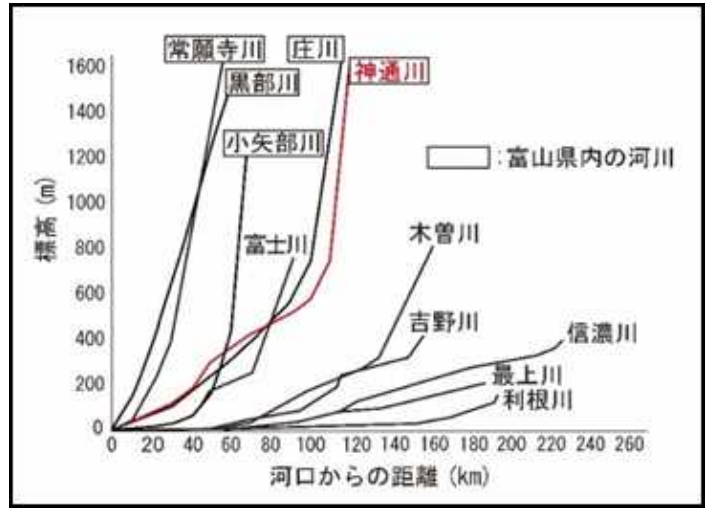
■ 河岸の侵食状況



護岸未整備のために河岸が侵食

L8.8k付近(平成30年7月8日)

■ 河川の河床勾配図

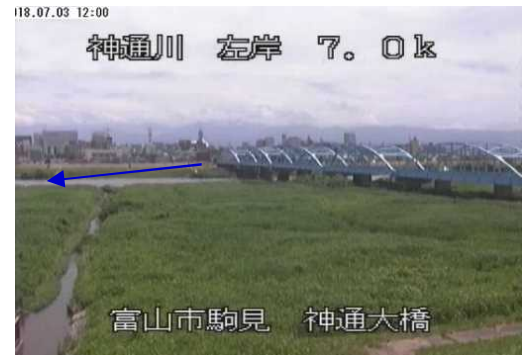


■ 神通大橋水位観測所

順位	年月日	水位(m)
1	平成16年10月21日	8.33
2	平成30年7月6日(今回)	7.22
3	昭和58年9月28日	7.10



神通川大橋の状況(平成30年7月6日)



平時の神通川大橋の状況

神通川水系井田川 河川改修事業の効果 (大坪用水堰改築事業) おおつぼ

- 井田川では、洪水被害の防止・軽減を目的に平成14年から特定構造物改築事業を順次整備中。
- 平成30年7月豪雨では、これまで行ってきた改築事業により、富山市八尾町福島地区(14.4km地点)では、**最大約1.3mの水位低減**が図られた。



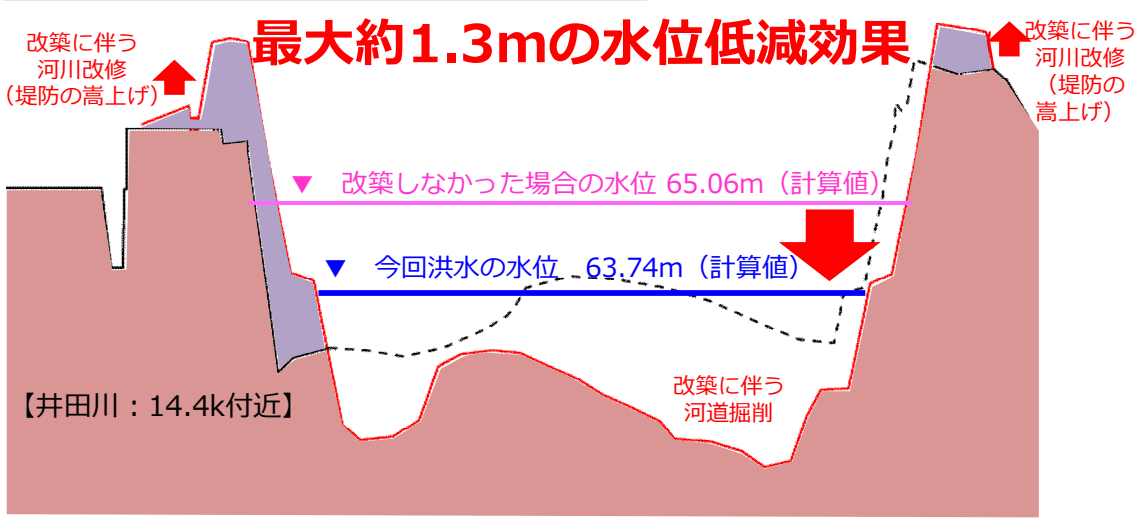
改築前 (固定堰)



改築後 (可動堰)



堰改築・河川改修の効果 (14.4k付近)



出水状況 井田川左岸14.0k付近 (杉原橋観測所)



庄川 河川改修事業の効果 急流河川対策により河岸侵食を防止

- 庄川は、全国有数の急流河川であり、平成28年9月出水でも、砺波市頼成地先で河岸侵食が発生するなどの被害が発生。現在、計画的に急流河川対策(護岸整備)を整備中。
- 平成30年7月豪雨では、大門観測所において、観測史上第2位となる水位を記録する出水となったが、急流河川対策(護岸整備)を実施した箇所では河岸の侵食等は生じていない。

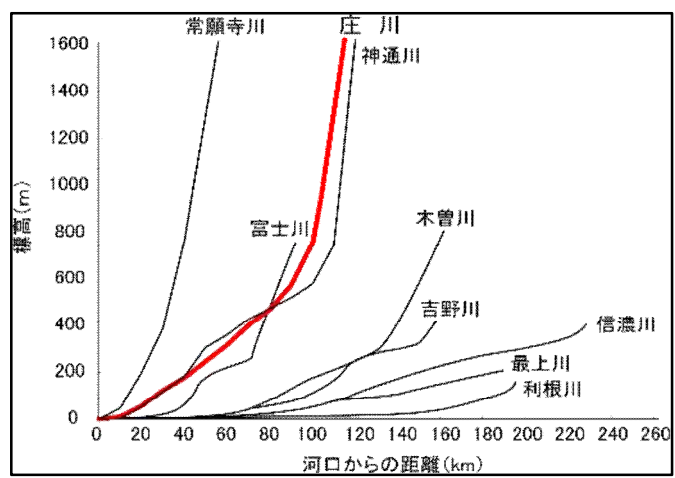
■ 急流河川対策(護岸整備)による効果



■ 河岸の侵食状況



■ 河川の河床勾配図



順位	年月日	水位 (m)
1	平成16年10月21日	7.69
2	平成30年7月7日 (今回)	6.93
3	平成29年10月23日	6.79



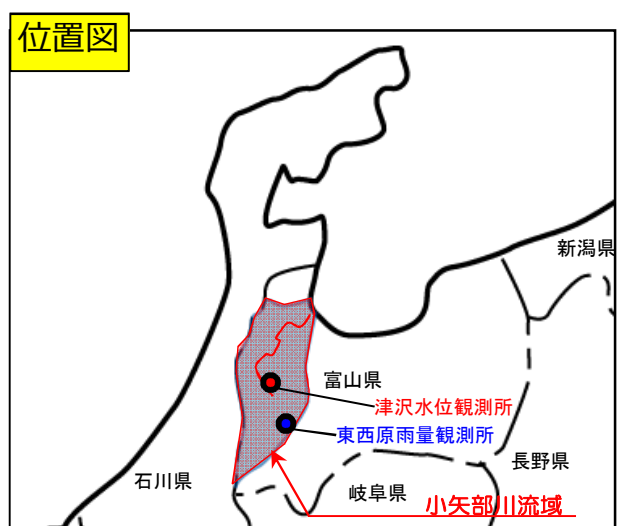
南郷大橋の状況 (平成30年7月6日)



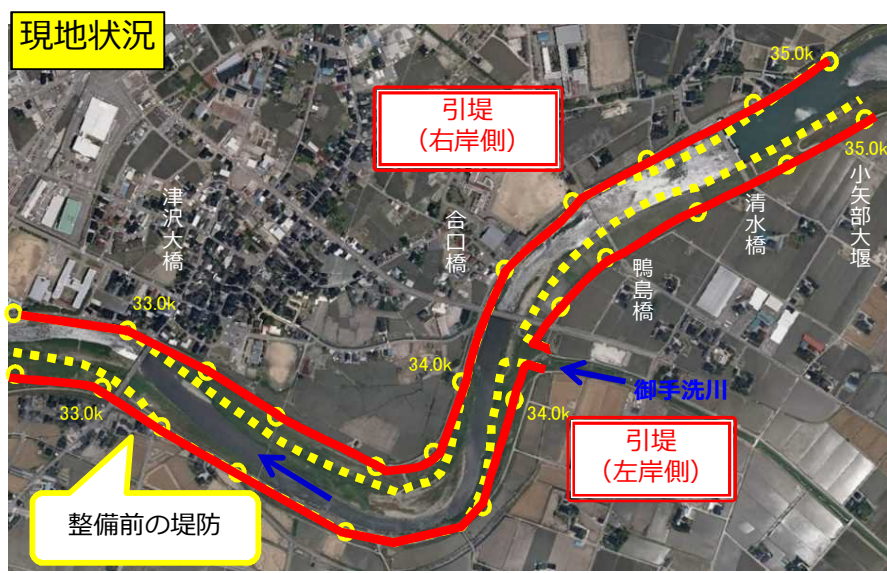
平時の南郷大橋の状況

小矢部川 河川改修事業の効果 引堤による水位の低減(津沢地区引堤事業)

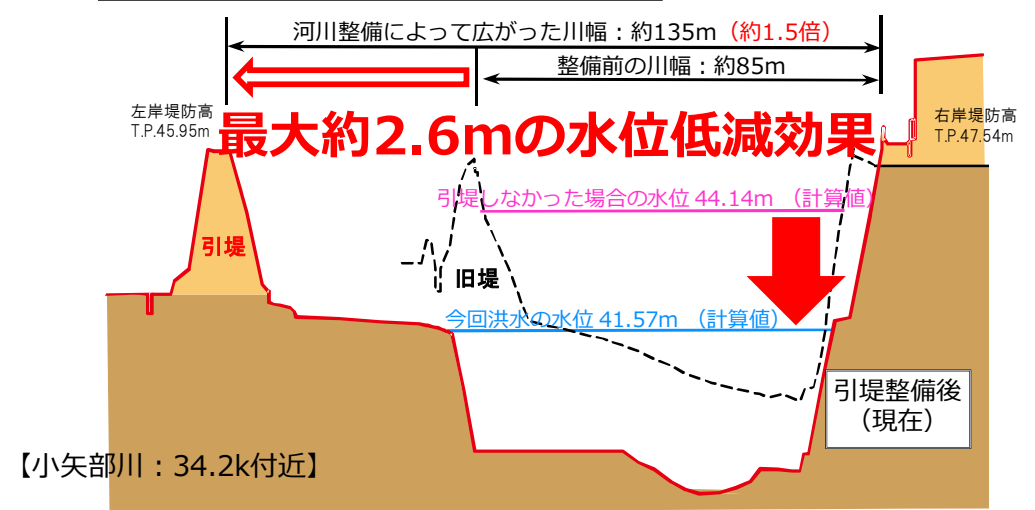
- 小矢部川では、洪水被害の防止・軽減を目的に昭和57年から川幅を広げる引堤事業を順次整備中。
- 平成30年7月豪雨では、これまで行ってきた引堤事業により、小矢部市津沢地区(34.2km地点)では、**約2.6mの水位低減**が図られた。



出水状況 小矢部川左岸33.0k付近

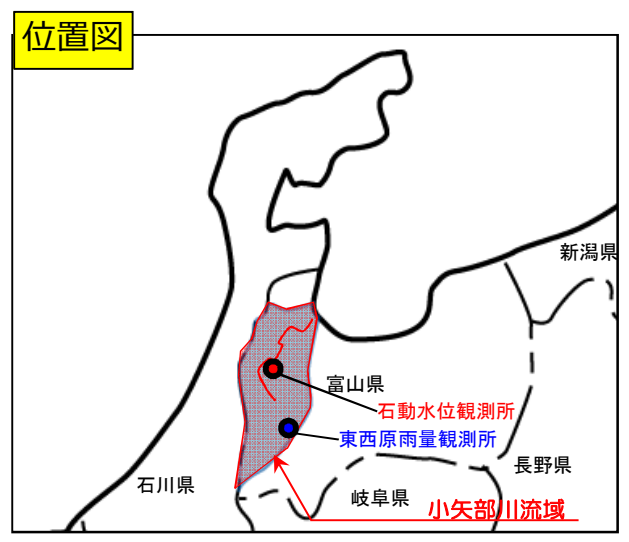


引堤・河道掘削の効果 (34.2k付近)



小矢部川 河川改修事業の効果 引堤による水位の低減いするぎ(石動地区)

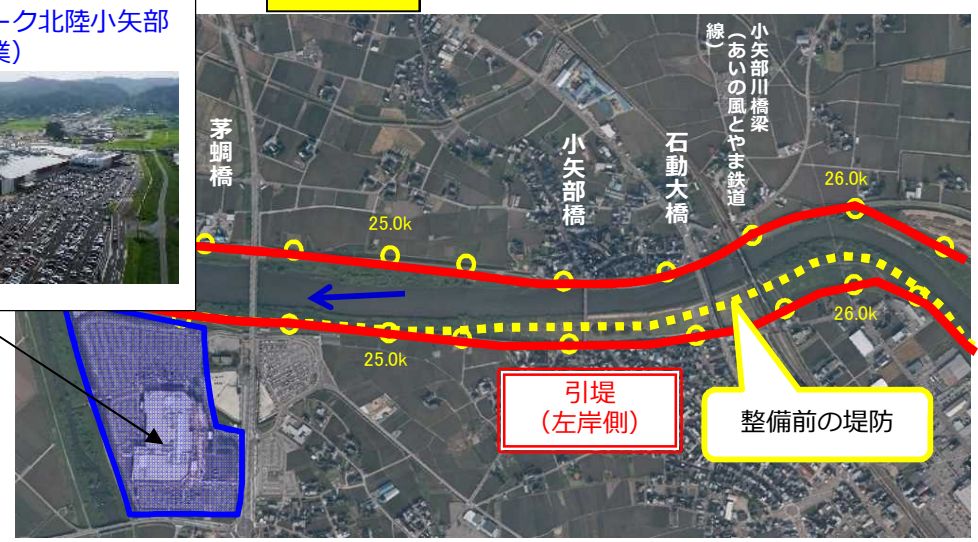
- 小矢部川では、洪水被害の防止・軽減を目的に昭和29年から川幅を広げる引堤事業を順次整備中。
- 平成30年7月豪雨では、これまで行ってきた引堤事業により、小矢部市石動地区(25.4km地点)では、**約17cmの水位低減**が図られた。



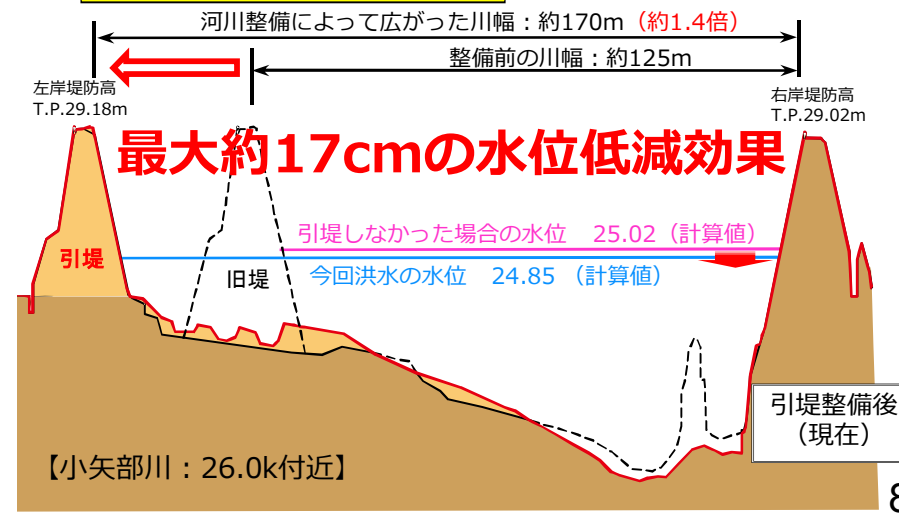
出水状況 小矢部川左岸25.4k付近



現地状況

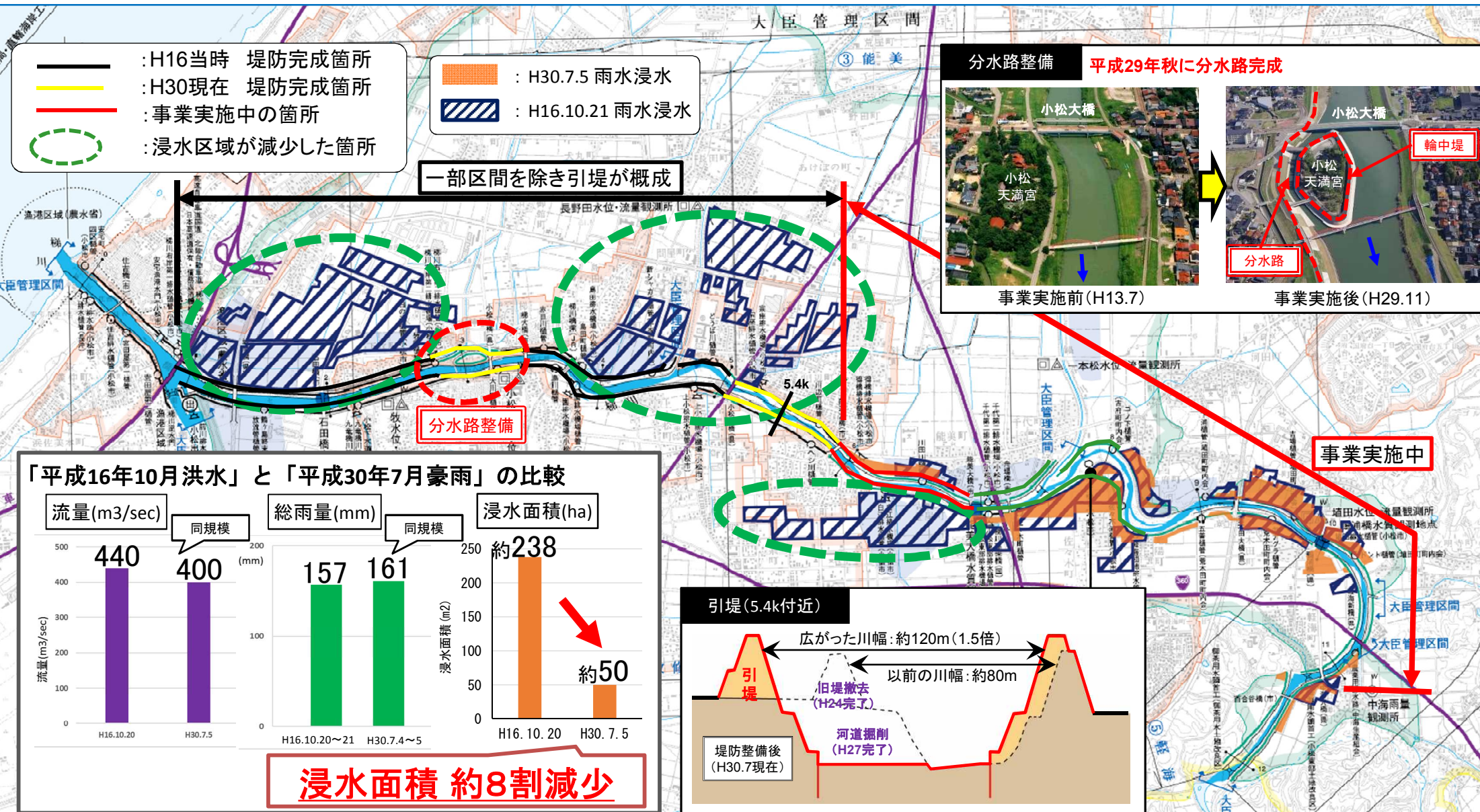


引堤の効果 (26.0k付近)



梯川 河川改修事業の効果 引堤による水位の低減

■平成16年10月洪水では、梯川に合流する水路から梯川への排水が困難となり雨水浸水が白江大橋から上流において約50haの区域において発生。
 ■梯川で実施している引堤等の効果発現により、梯川の水位が約1.0m低下し、支川の流れを本川に合流させやすく出来たことから、今回の出水では、同規模の出水であった平成16年10月の洪水と比較し、内水による浸水面積を約8割減少。



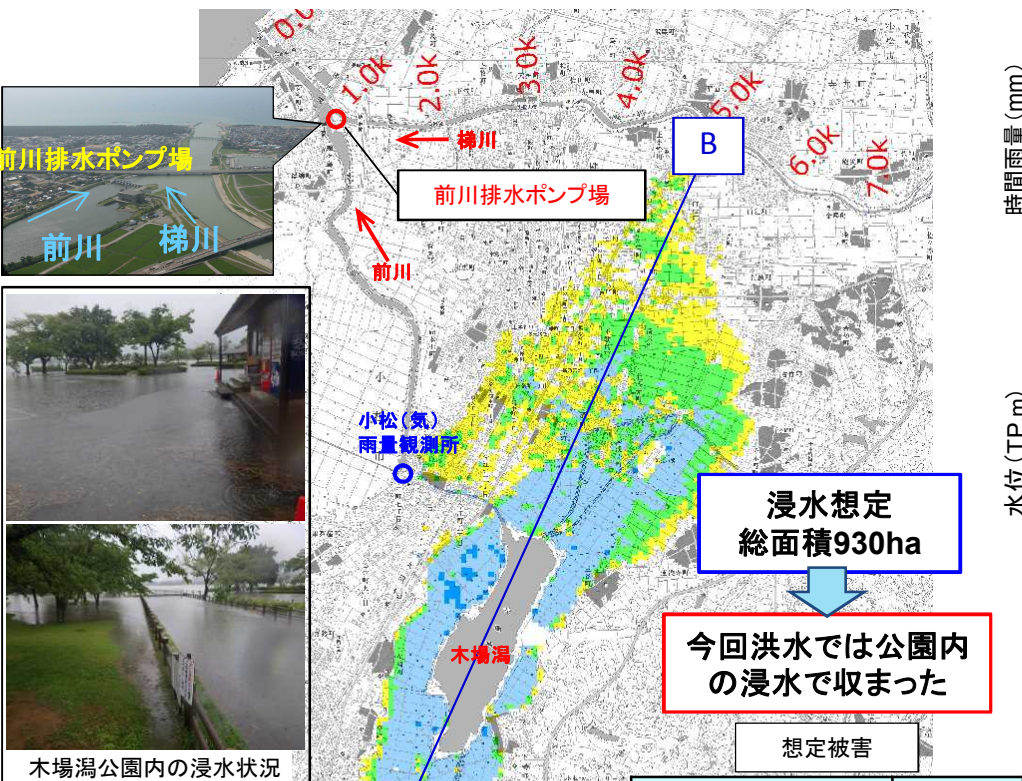
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

※ 雨水浸水とは、本川（梯川）の水位が高い時に堤防内側の雨水が排水できず、周辺で湛水する現象

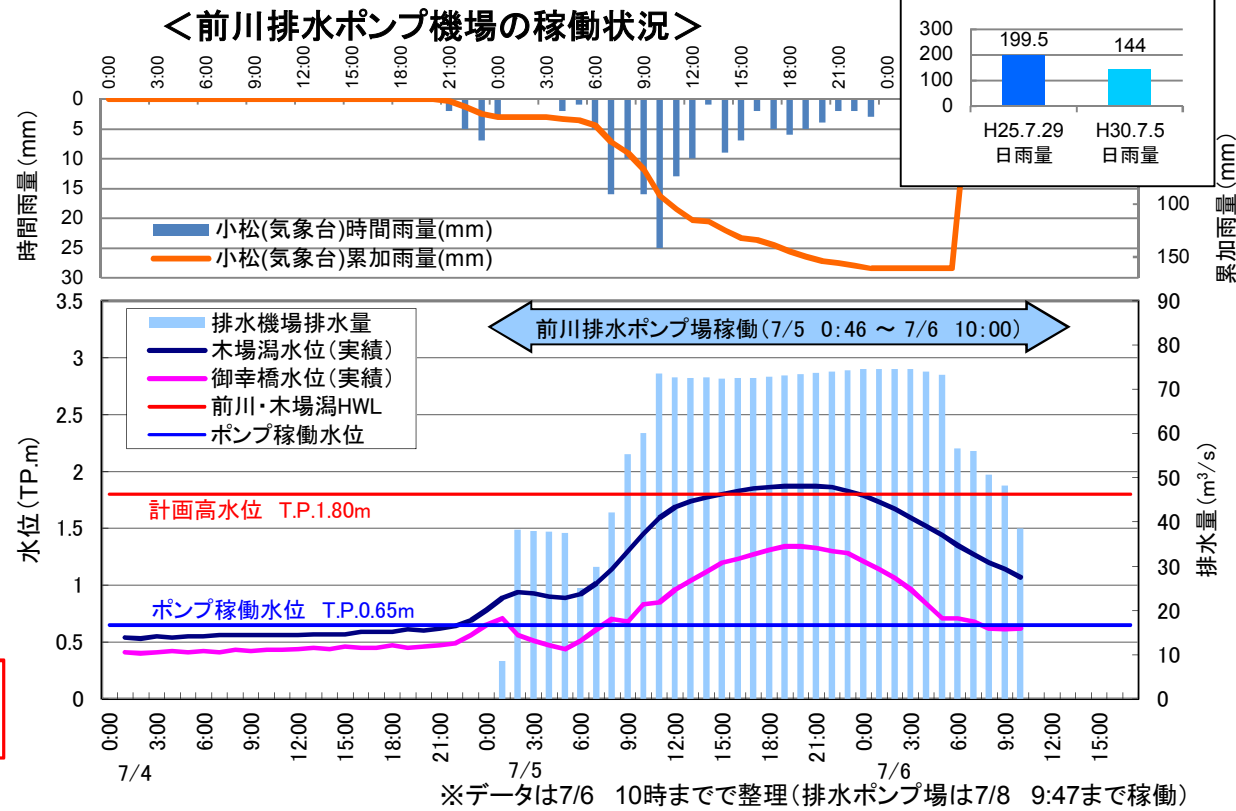
梯川水系前川 河川改修事業の効果（前川排水ポンプ場）

- 前川ならびに木場潟の自然排水が困難となったため、前川排水ポンプ場（最大能力62m³/s）の運転を実施。
- 今回洪水における総排水量は約730万m³であり、これは木場潟の平時の湛水量の6倍に相当。
- 前川排水ポンプ場が存在しなかった場合、木場潟周辺一帯で浸水面積930haという甚大な被害が発生。

＜前川排水ポンプ場が存在しなかった場合の浸水想定被害＞



＜前川排水ポンプ場の稼働状況＞



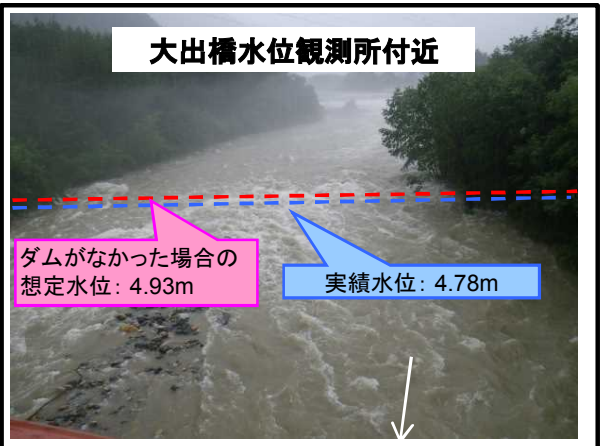
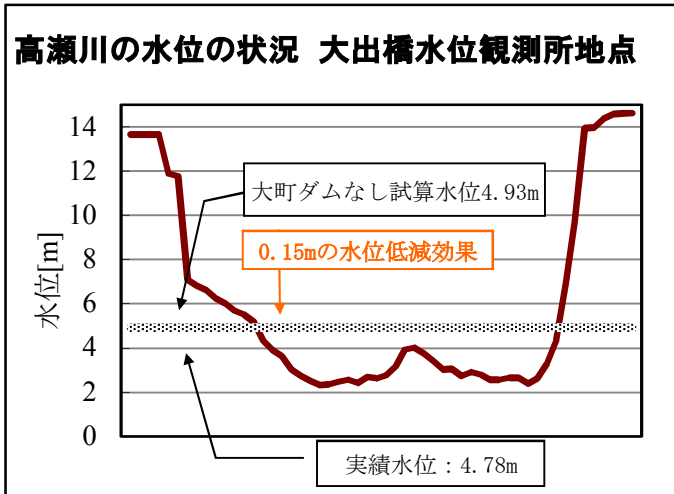
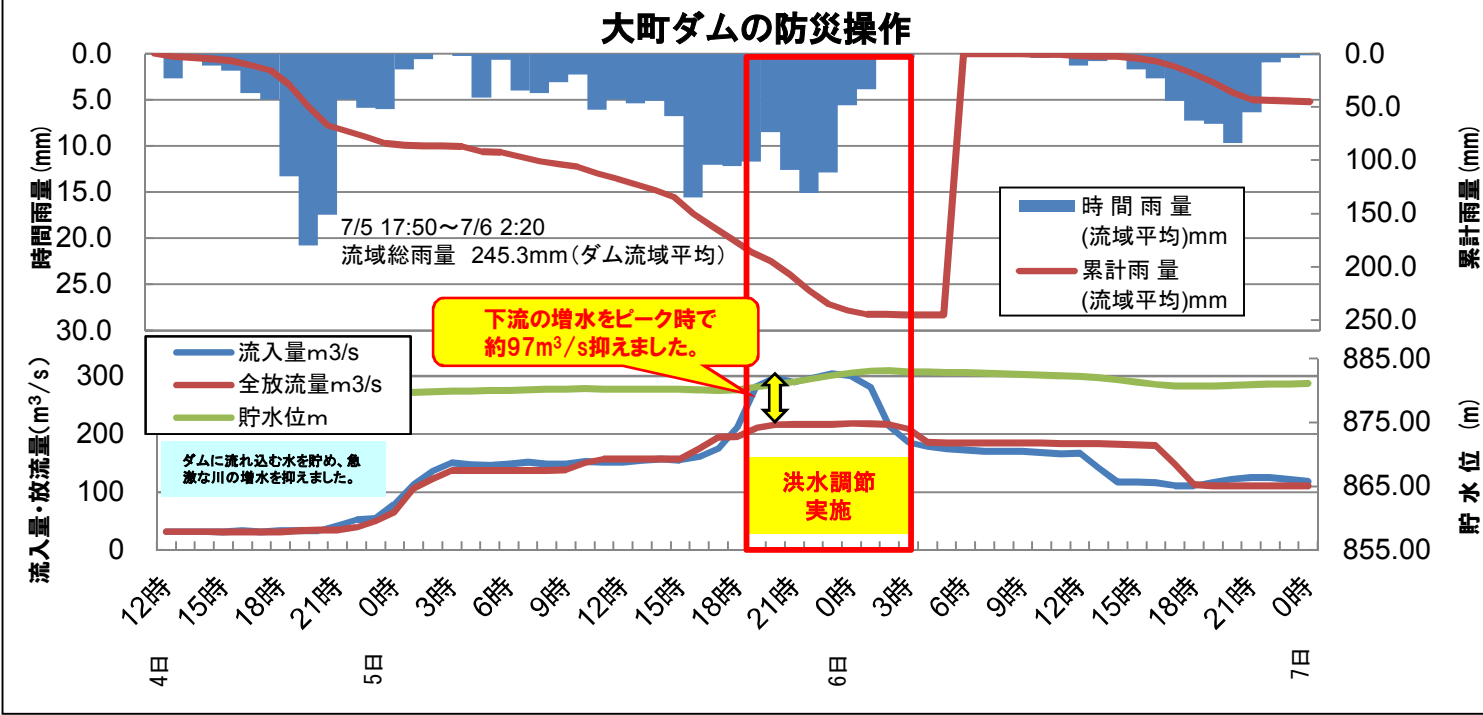
前川排水機場	運転時間※		総排水量	備考
	7/5 0:46~	7/6 10:00		
		33時間14分	7,300 × 10 ³ m ³	操作記録による

今回洪水における総排水量7,300,000m³の量を例えると

- ①25mプール:約26,500杯分 ※275m³/杯 (縦25m×横11m×水深1m)
- ②こまつドーム:約12個分 ※589,000m³/施設
- ③木場潟:約6杯分 ※有効貯水容量 1,300,000m³

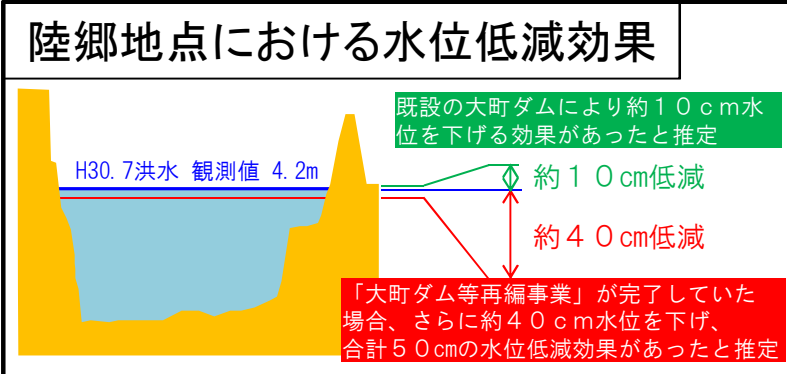
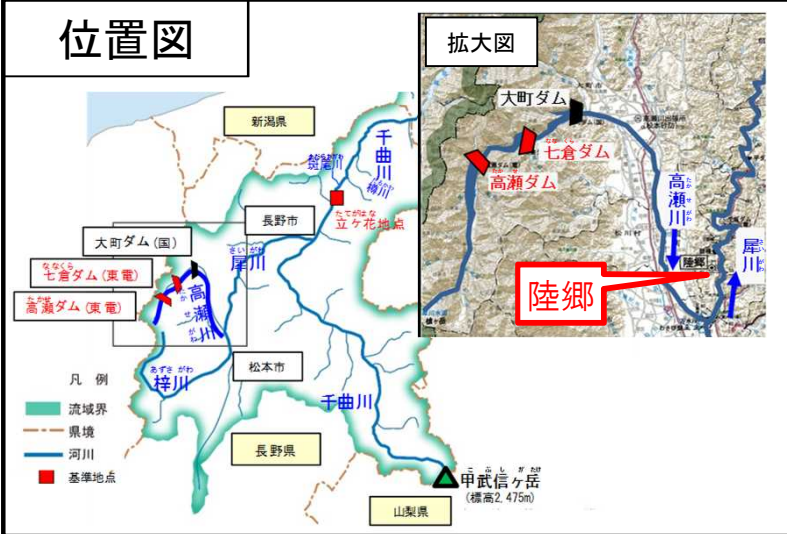
信濃川水系高瀬川 ダム事業の効果（大町ダム）

- 平成30年7月豪雨では、大町ダムにおいて最大流入量約314m³/sを観測。
- 大町ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の安曇野市（大出橋水位観測所）において水位を約15cm低減（推測値）。



信濃川水系高瀬川「大町ダム等再編事業」に期待される効果

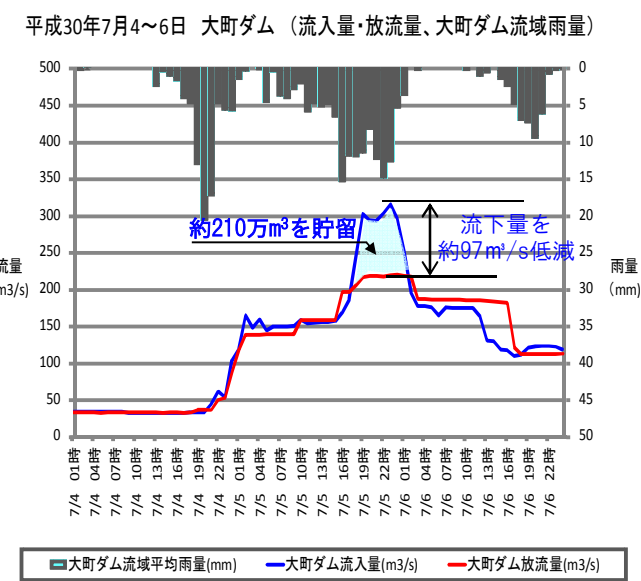
- 大町ダム上流域では、7月4日12時から6日3時にかけて、ダム管理開始以降最大となる累加雨量約245mmを観測。
- 既設の大町ダムでは、約210万m³の洪水を貯留し、**ダムから下流への流下量を約30%低減**する効果があったと推定される。
- 東京電力HDの高瀬ダム、七倉ダムにおいても、流入量の一部を貯留しており、洪水流量の低減に寄与していたと考えられる。
- 現在、高瀬ダム、七倉ダムは洪水を貯留する目的を有していませんが、**大町ダム等再編事業では3つのダム合計で約3200万m³(25mプール約11万杯分)の洪水調節容量を確保**し、操作ルールを見直すことにより安全度向上を図る計画。
- 「大町ダム等再編事業」が完了していた場合には、大町ダム、高瀬ダム、七倉ダムの3ダム合計で、**ダムから下流への流下量を約90%低減**し、**下流の陸郷地点で約50cm水位を下げ**る効果があったと推定され、**ダム下流の更なる安全への効果が期待**。



【実績】既設の大町ダムの効果

約210万m³の洪水を貯留
(25mプールで約7,000杯分)

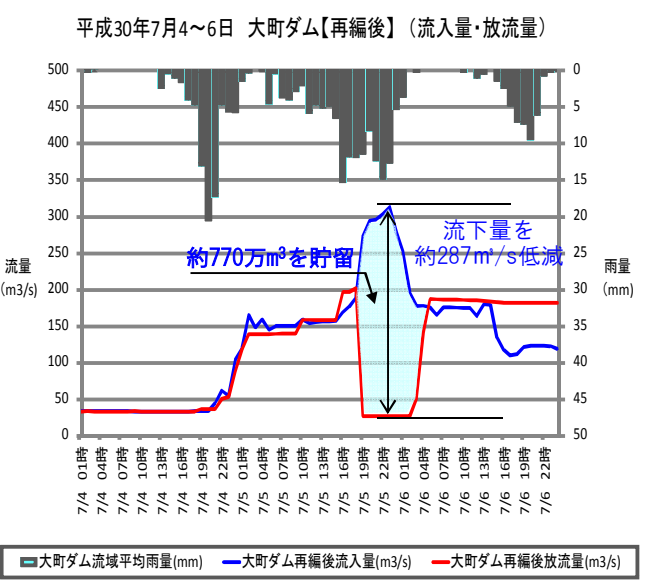
【参考】25mプール1杯分の容量は、300m³として計算
(長さ25m×幅10m×水深1.2m)



※洪水調節容量2,000万m³のうち210万m³を活用

【推定】大町ダム等再編事業完了後の効果

3ダム合計で約920万m³を貯留
大町ダム：約770万m³貯留
高瀬・七倉ダム：約150万m³貯留
(25mプールで約30,700杯分)



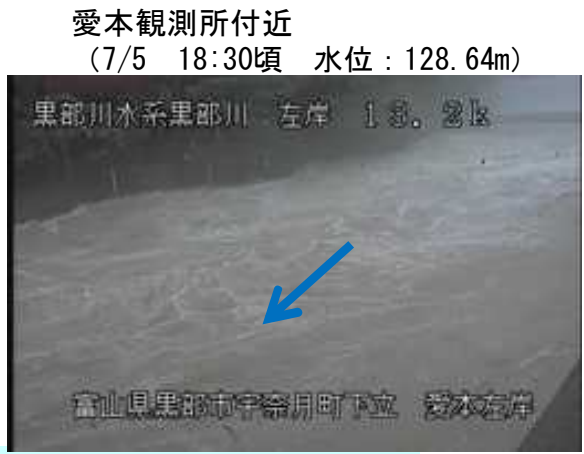
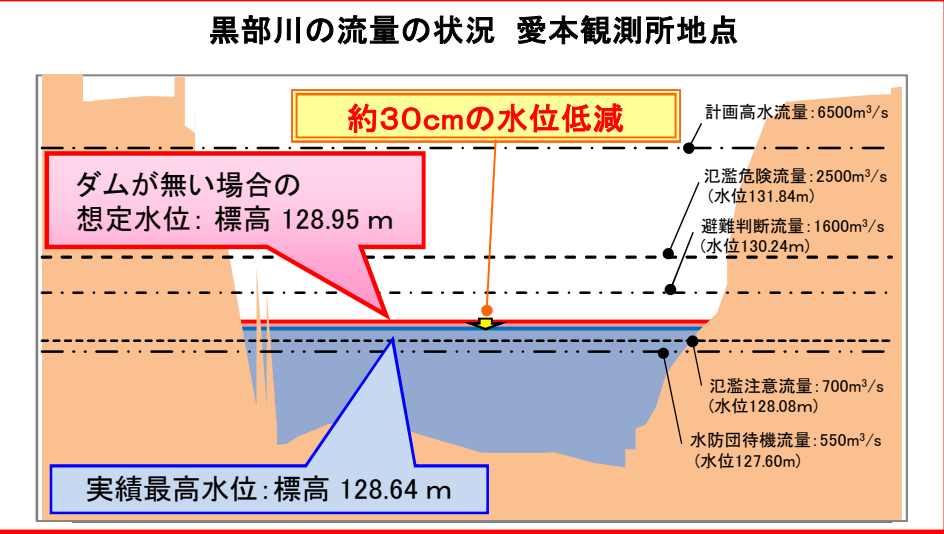
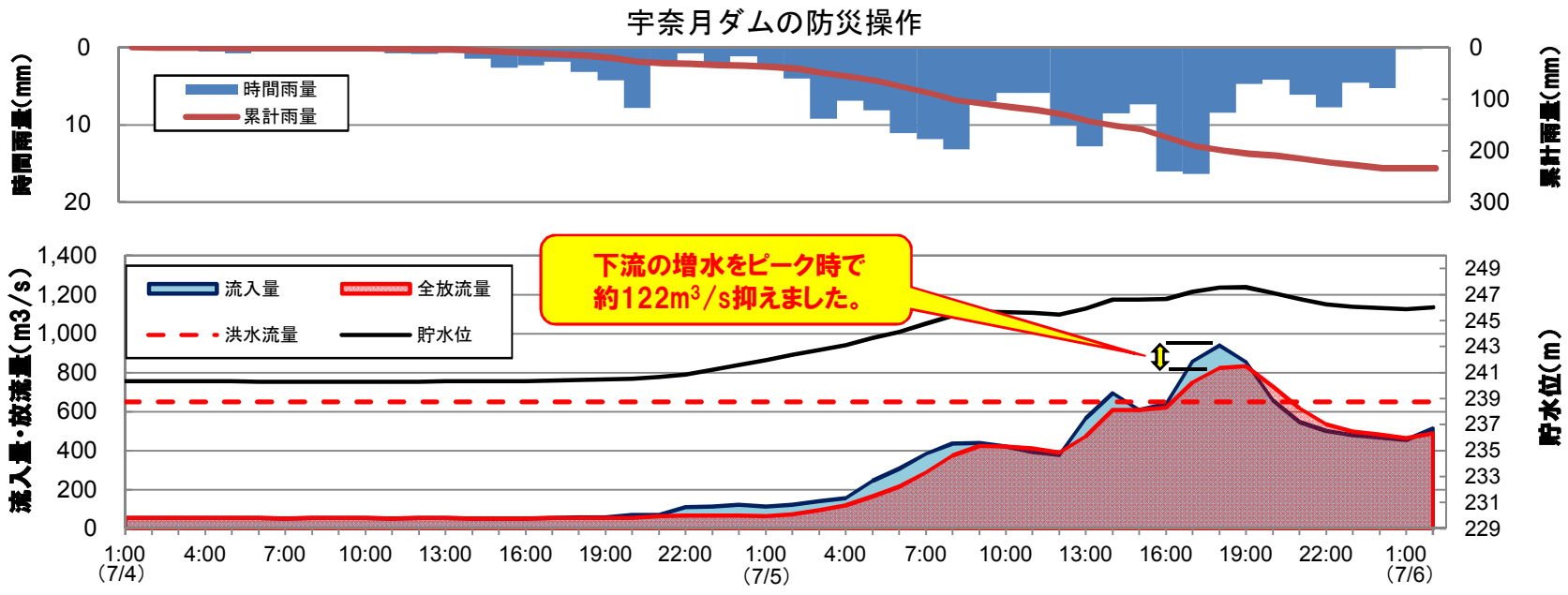
※洪水調節容量3,200万m³のうち920万m³を活用



黒部川 ダム事業の効果（宇奈月ダム）

■平成30年7月豪雨により、黒部ダムから宇奈月ダムの流域では7月4日1時から7月6日1時にかけて総雨量が234.3mm（時間最大16.4mm）を記録し、宇奈月ダムへの最大流入量は939m³/s（7月5日17時53分）に到達。

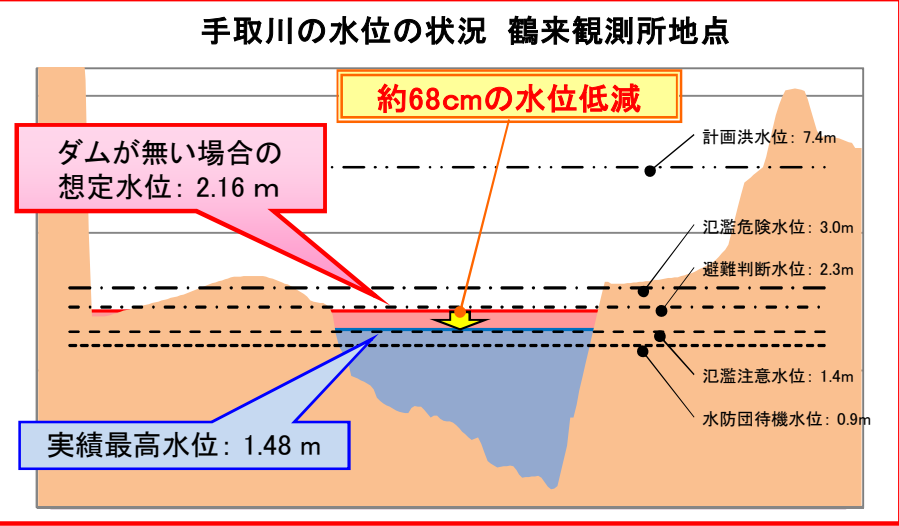
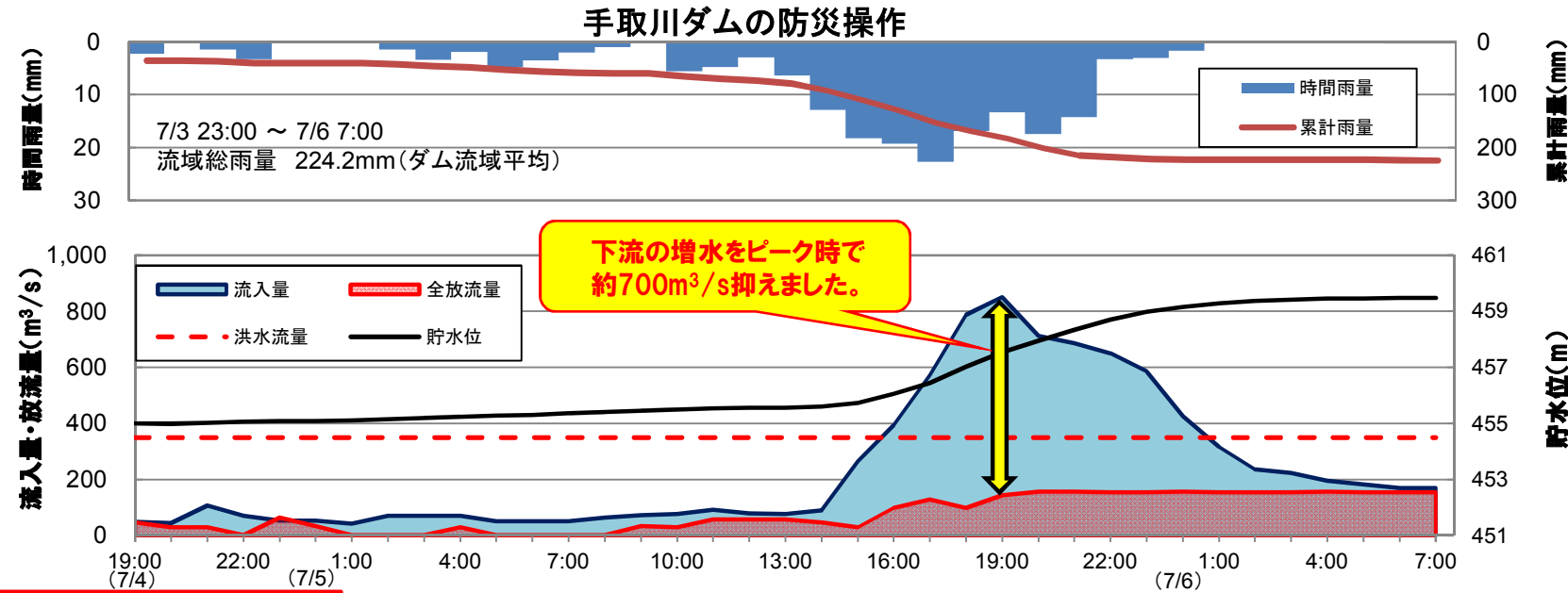
■宇奈月ダムでは、水量を減らして下流に放流する防災操作（洪水調整）を行い、ダムに水を貯め込むことにより、下流河川の水位を最大で約30cm低減。



ダムに流れ込む水を貯め、急激な川の増水を抑えました。

手取川 ダム事業の効果（手取川ダム）

- 平成30年7月豪雨では、手取川ダムにおいて最大約850m³/sの流入量を観測。
 - 手取川ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の白山市（鶴来観測所）において水位を約68cm低減（推測値）。
 - 仮にダムが整備されていなければ、避難判断水位※に迫る出水となったことが想定。
- ※ 住民に対し氾濫発生危険性の注意喚起を開始する水位。市町村長の避難準備・高齢者等避難開始の発表判断の目安となる。



ダムに流れ込む水を貯め、急激な川の増水を抑えました。

<本数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります>

河川管理施設等被害(平成30年7月23日12時 時点)

北陸地方整備局管内の国管理河川において、5水系5河川8箇所にて河川管理施設等の被害を確認。(7月23日12:00時点)
現在、現地調査(施設点検)を継続中。

河川管理施設等被害 : 5水系5河川8箇所(7月23日12:00時点)

※今後の現地調査や被災内容の精査により、変更となる場合があります。

整備局	水系	河川	市町村	地点		被害状況		対策状況
				左右岸	KP	状態	数量(約)	
北陸	しなのがわ 信濃川	さいがわ 犀川	まつもと市 松本市	右	69.0	その他 (根固工流出)	200m	応急対策実施中
北陸	しなのがわ 信濃川	さいがわ 犀川	まつもと市 松本市	右	76.3	その他 (根固工、蛇籠流出)	160m	応急対策実施中
北陸	しなのがわ 信濃川	さいがわ 犀川	まつもと市 松本市	右	80.1	洗掘 (河岸侵食)	40m	応急対策実施中
北陸	じんづうがわ 神通川	じんづうがわ 神通川	とやまし 富山市	左	9.2	洗掘 (河岸侵食)	600m	応急対策完了
北陸	じんづうがわ 神通川	じんづうがわ 神通川	とやまし 富山市	左	22.5	洗掘 (堤防欠損)	100m	緊急復旧完了
北陸	しょうがわ 庄川	しょうがわ 庄川	となみし 砺波市	右	21.0	その他 (護岸欠損)	300m	応急対策実施中
北陸	てどりがわ 手取川	てどりがわ 手取川	かわきたまち 川北町	右	6.4	その他 (ふとんかご流失)		応急対策完了
北陸	かけはしがわ 梯川	かけはしがわ 梯川	こまつし 小松市	左	10.0	漏水	1	応急対策完了

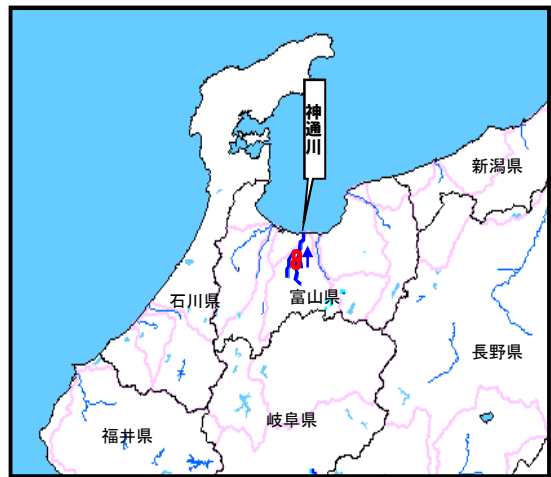


梯川左岸10K付近(小松市)



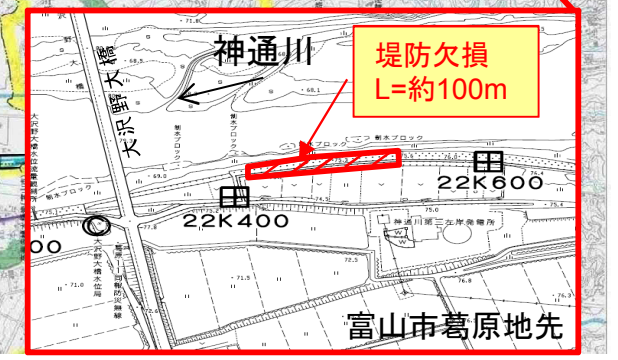
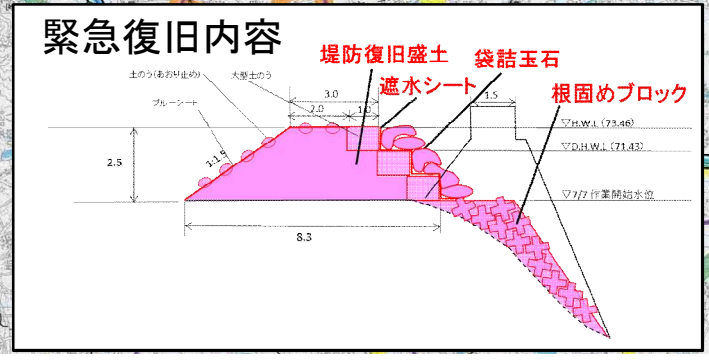
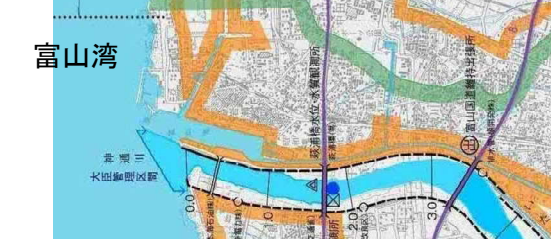
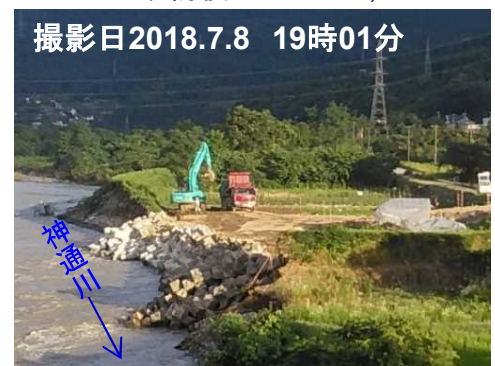
神通川左岸22.5K付近(富山市)

神通川 堤防の緊急対策工事（左岸22.5k:富山市葛原地先）



- 【経過】**
- 7/6 12時頃 堤防欠損発見
 - 19:10 復旧工事着手（進入路）
 - 23時頃 増水により一時中止
 - 堤防欠損増破
 - 7/7 7:30 復旧工事再開（進入路）
 - 17:50 根固めブロック投入 着手
 - 7/9 10:30 根固めブロック投入 完了
 - 16:00 堤防復旧盛土 着手
 - 7/10 19:00 遮水シート 着手
 - 19:40 袋詰玉石据付 着手
 - 7/11 4:00 遮水シート 完了
 - 12:00 堤防復旧盛土 完了
 - 18:30 袋詰玉石据付 完了
 - 18:30 緊急対策工事 完了

- 【緊急復旧工事進捗状況】 7月11日（水）18時30分現在（完了）**
- ・根固めブロック 432個 / 432個（完了）
 - ・袋詰玉石 333個 / 333個（完了）
 - ・遮水シート 800m² / 800m²（完了）
 - ・堤防復旧盛土 2,200m³ / 2,200m³（完了）



国土交通省「川の防災情報」

身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。

The diagram illustrates the website's accessibility on both PC and smartphone. On the left, a PC monitor displays the desktop version of the website, which includes a map of Japan with color-coded flood risk areas. On the right, a smartphone displays the mobile version, featuring a navigation menu and a map of a specific river. Blue arrows point from the smartphone screen to three callout boxes: 1. '川の水位' (River Water Level), showing a line graph of water levels over time for the Tone River. 2. '川の画像' (River Image), showing a photograph of a river with a flooded path. 3. '浸水想定区域図' (Flood Risk Map), showing a detailed map of a city area with color-coded flood risk zones. A large QR code is positioned to the right of the smartphone, with the text 'QRコードはこちら' (QR code is here) below it.

パソコンから：<http://www.river.go.jp/>
スマートフォンから：<http://www.river.go.jp/s/>

【問い合わせ先】
(気象概要、出水概要 及び 水防活動 に関する問い合わせ)
国土交通省 北陸地方整備局 河川部 水災害予報センター
(河川改修事業の効果 に関する問い合わせ)
国土交通省 北陸地方整備局 河川部 河川計画課
(ダム事業の効果 及び 河川管理施設等被害 に関する問い合わせ)
国土交通省 北陸地方整備局 河川部 河川管理課
(緊急対策工事 に関する問い合わせ)
国土交通省 北陸地方整備局 河川部 河川工事課
〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1
TEL 025-280-8880(代)